

環境活動レポート

タカヤナギ ECOな取り組み

エコアクション21



株式会社タカヤナギ

令和4年度

取組期間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

作成日 令和5年6月13日

目次

項目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営システムの組織図、役割、責任、権限	4
環境経営目標	5
環境活動計画の内容	5
主な環境負荷の実績、環境経営実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策	11
緊急事態対応訓練	11
環境関連法規の取りまとめ及び遵守評価	12
外部コミュニケーション	13
代表者による総合評価と見直し	14

環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社タカヤナギは、特別管理産業廃棄物・産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬業務並びに運送業務を通じ、全員参加で地球環境保全に貢献し改善に努め、「愛されること、誉められること、役に立つこと、必要な人になること」をモットーに持続可能な社会づくりを目指します。

基本方針

株式会社タカヤナギは、基本理念の実現に向けて以下の環境経営活動を行います。

1. 環境への負荷を出来る限り少なくし、循環型社会の構築に向けて企業活動します。
 - ・二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
 - ・リサイクル推進、廃棄物の削減に努めます。
 - ・環境に配慮した備品、消耗品のグリーン購入を推進します。
 - ・節水に努めます。
2. 環境経営の継続的改善を実施する。
3. 環境関連法規制、条例等、その他の要求事項を遵守する。
4. 安全運転に心がけ、適正処理をします。
5. この環境方針を全社員に周知徹底させ、環境への意識高揚を図る。

改定日 平成31年4月1日

株式会社 タカヤナギ
代表取締役 平田 豪

□組織の概要

- 1) 事業者及び代表者
株式会社タカヤナギ 代表取締役 平田 豪
- 2) 所在地
本社：静岡県沼津市西間門 14番地の1
本社／営業所：静岡県沼津市西間門14-1
- 3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
責任者 佐藤 舞子
連絡先 TEL:055-922-6230 FAX:055-922-6231
- 4) 事業内容
一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬・特別管理産業廃棄物収集運搬
一般貨物自動車運送
- 5) 認証・登録の対象組織・活動
登録組織名：株式会社タカヤナギ 対象事業所：本社／沼津営業所
- 6) 事業の規模 3月決算

活動規模	単位	R2年度	R3年度	R4年度
廃棄物関係事業	t	2781.1	3304.1	3095.5
売上高	千円	324,627	386,417	396,669
従業員	人	14	14	14
敷地面積	m ²	1393.24	1393.24	1393.24
保有車両	台	15	15	15

情報公開項目

法人名 株式会社タカヤナギ 代表者 代表取締役 平田 豪
 資本金 2,100万 設立 1988年10月12日 売上高 上記参照

許可の内容

産業廃棄物収集運搬業

	静岡県 優良	愛知県 優良	神奈川県	東京 優良
許可番号	02212000544	02300000544	01402000544	13-00-000544
許可年月日	R元. 9.29	R3. 5.11	R元. 9.10	R元. 12.16
許可有効期限	R8. 9.28	R10. 4.24	R6. 7.16	R8. 12.15
事業の範囲	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（医療関係機関等から排出されるものに限り、積替え保管含む）	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

特別管理産業廃棄物収集運搬業

	静岡県 優良	愛知県 優良	神奈川県	東京 優良
許可番号	02261000544	02350000544	01452000544	13-50-000544
許可年月日	R2. 8. 2	R3. 5. 11	R元. 9. 10	R元. 12. 16
許可有効期限	R9. 8. 1	R10. 4. 24	R6. 7. 16	R8. 12. 15
事業の範囲	感染性廃棄物（積替え保管含む）、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ等48品目	感染性廃棄物、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ等48品目	感染性廃棄物	感染性廃棄物

一般廃棄物収集運搬業

許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲
03326	R3. 10. 4	R5. 10. 4	三島市一般廃棄物の収集運搬

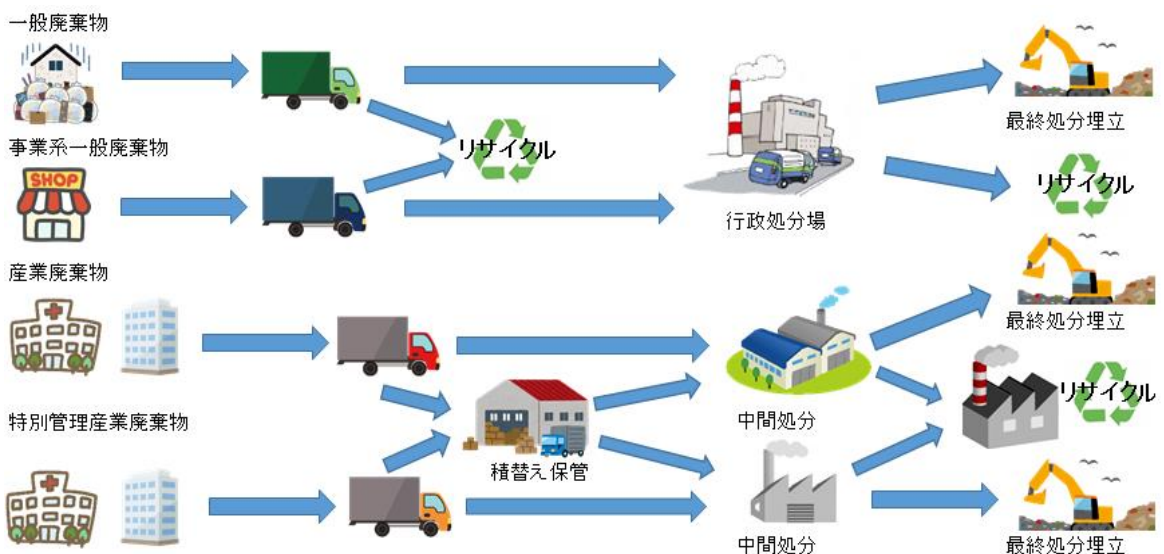
施設等の状況

収集運搬車両	形状	台数
4 t 車	バン	4台
3 t 車	バン	3台
2 t 車	バン	6台
2 t 車	塵芥車	2台

積替え保管施設 該当有（静岡県）

種類	品目	保管上限 (m ³)	面積 (m ²)
特別管理産業廃棄物	感染性廃棄物	11. 12	6. 43
産業廃棄物	廃プラスチック類	3. 52	2. 61
	ガラスくず	0. 8	1. 82
	廃酸	0. 18	0. 57
	廃アルカリ	0. 18	0. 57

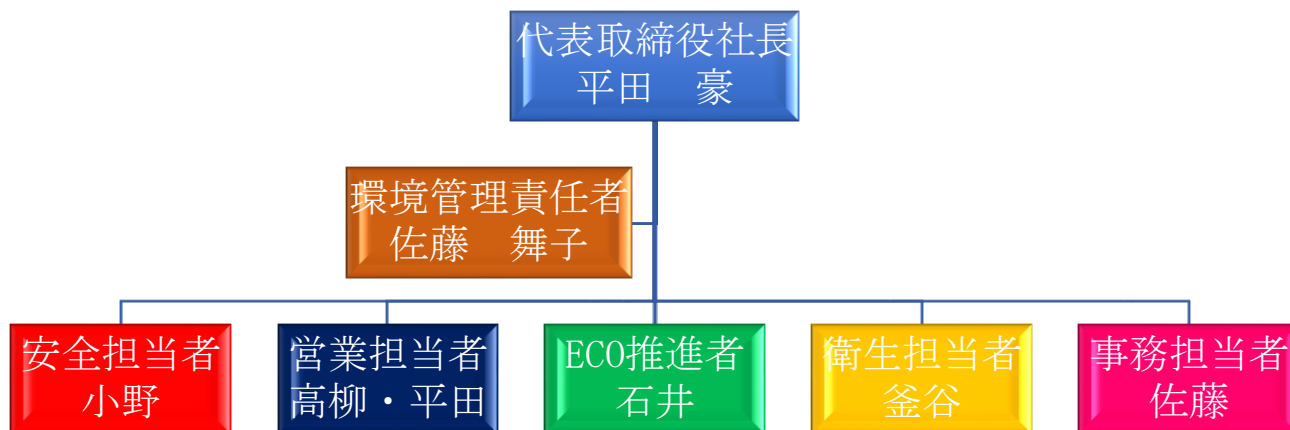
廃棄物フロー図



処理実績

収集運搬実績	種類	実績 (t)	収集運搬実績	種類	実績 (t)
産業廃棄物	汚泥	0	特別管理 産業廃棄物	感染性廃棄物	2,193.869
	廃油	3.381		引火性廃油	1.955
	廃酸	4.073		腐食性廃酸	0
	廃アルカリ	1.912		腐食性廃アルカリ	0
	廃プラスチック類	415.603		合計	2,195.824
	紙くず	0	一般廃棄物	可燃・不燃	391.620
	木くず	0		古紙	42.430
	金属くず	6.334		合計	434.050
	動植物性残渣	0			
	ガラ・コン	32.182			
	水銀使用製品	2.183			
	合計	465.668		総合計	3,095.542

□環境経営システムの運営体制



担当者	役割、責任、権限
代表取締役社長	・経営における課題とチャンスの明確化・環境管理責任者及びその他の責任者の任命をする。・環境方針を決定する。・エコアクション21の総合評価と方針の見直しをする。・関係法令遵守に関し、責任を持つ。
環境管理責任者	エコアクション21に係る事項の決定、報告場所。統括をする。各担当者（安全担当者、営業担当者、衛生担当者、ECO推進者、事務担当者）を指揮する。
安全担当者	決定事項に基づき、車両に係る事項を統括する。
営業担当者	決定事項に基づき、営業に係る事項を統括する。
ECO推進者	決定事項に基づき、発注に係る事項を統括する。
衛生担当者	決定事項に基づき、清掃に係る事項を統括する。
事務担当者	決定事項に基づき、事務に係る事項を統括する。

□環境経営目標

取組項目	目標年度	環境目標	部門別目標	中長期目標（対30年度）
二酸化炭素排出抑制	令和4年度	平成30年度比総量で排出量を5%削減する	電気使用量を5%削減 使用燃料を5%削減 LPGのデータを取る	令和4年度 排出量5.2%削減
				令和5年度 排出量5.4%削減
				令和6年度 排出量5.6%削減
水量の削減	令和4年度	平成30年度比総量で総排水量5%削減する	排水量の5%削減	令和4年度 排出量5.2%削減
				令和5年度 排出量5.4%削減
				令和6年度 排出量5.6%削減
廃棄物の排出量の抑制	令和4年度	平成30年度比総量で排出量を5%削減する	排出量の5%削減 産廃の排出量の把握	令和4年度 排出量5.2%削減
				令和5年度 排出量5.4%削減
				令和6年度 排出量5.6%削減
化学物質使用量の削減			使用する化学物質はない為該当無	
受託産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	令和4年度	リサイクル80%（基準）に対し1.3%向上する	リサイクル率1.3%向上	令和4年度リサイクル率1.4%向上
				令和5年度リサイクル率1.5%向上
				令和6年度リサイクル率1.6%向上
環境意識の向上	令和4年度	グリーン購入	コピー用紙、業務用品全般優先購入	

受託廃棄物のリサイクル率向上は収集運搬し中間処理後のリサイクルと埋立量（最終処分）の割合

□環境活動計画の内容

	内容	管理責任者	
購入電力	使用していないパソコンの電源を落とす。	事務担当者	
	不必要な照明を落とす。	事務担当者	
	冷暖房の設定温度を守る。（暖房21度、冷房28度）	事務担当者	
	クールビズ、ウォームビズの実施	衛生担当者	
化石燃料	効率的なルートで営業・収集運搬する。	安全担当者	
	アイドリングストップに心がけE C Oドライブをする。	安全担当者	
	液化石油ガスのデータをとる。	衛生担当者	
水資源	生活排水、洗車時の節水。	衛生担当者	
	節水シールの貼り付けとポスター掲示	衛生担当者	
廃棄物の削減	分別の徹底	衛生担当者	
	紙使用量削減	コピー用紙の失敗枚数削減	事務担当者
		両面使用の徹底	事務担当者
		F A Xのプレビュー確認後印刷	事務担当者
	使用済み用紙をリサイクル施設へ搬入。	E C O推進者	
受託廃棄物における環境配慮及びサービスの改善	受託廃棄物の再資源化の推進、営業	営業担当者	
グリーン購入	エコマーク商品の優先購入	E C O推進者	

□主な環境負荷の実績

項目	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二酸化炭素総排出量	k g -CO ₂	232,207	247,218	219,723
電力	k g -CO ₂	5,046	4,848	5,420
軽油	k g -CO ₂	223,936	239,122	211,593
ガソリン	k g -CO ₂	3,225	3,229	2,686
液化石油ガス (LPG)	k g -CO ₂		18.63	24.23
化石燃料合計	k g -CO ₂	227,161	242,369.63	214,303.23
総排水量	m ³	149.5	101.5	68.5
自らの廃棄物排出量 (一般)	k g	372	391	365
〃 (産廃)	k g	—	—	13

□環境経営実績

環境目標	単位	H30年度	R4年度	R4年度	達成率	評価	R5年度	
		基準値	目標	実績			目標	
総排出量の削減 二酸化炭素の削減	電力使用量の削減	kWh	10,206	9,675	11,154	86%	×	9,655
		kg-CO ₂	4,960	4,702	5,420			4,692
	軽油使用量の削減排出係数 2.58	L	96,687	91,659	82,013	111%	○	91,466
		kg-CO ₂	249,452	236,480	211,593			235,982
	ガソリン使用量の削減排出係数 2.32	L	2,634	2,497	1,329	187%	○	2,492
		kg-CO ₂	6,110	5,792	2,686			5,780
合計	kg-CO ₂	260,522	246,974	219,699	112%	○	246,454	
水量の削減	m ³	141	133.7	68.5	195%	○	133.4	
廃棄物排出量の抑制	kg(一般)	310	293.9	365	80%	×	293	
	kg(産廃)	—	—	1,263	—	—	—	
受託産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	リサイクル率 (%)	80	81.1	66	81.4%	×	81.2	
グリーン購入		優先購入	優先購入	優先購入			優先購入	

表中の評価の記号 (○目標達成、△達成率90%以上、×達成率90%以下)

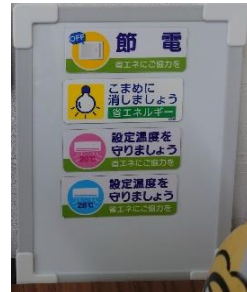
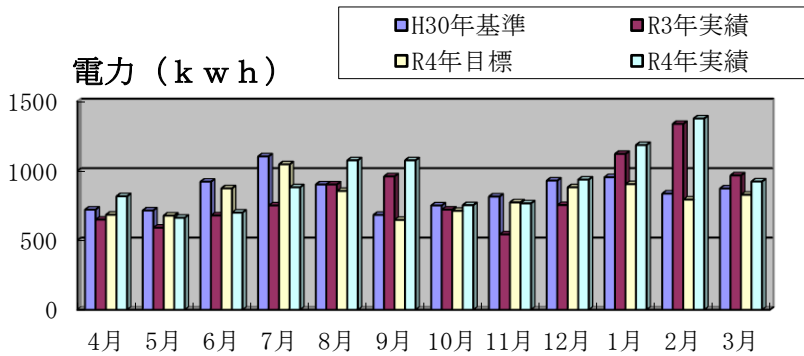
購入電力の排出係数は、平成30年度実績 東京電力エナジーパートナー (株) 実排出係数=0.000486 t-CO₂/kWhを採用

液化石油ガス (LPG) の使用量は気体 (m³) で把握し、「1m³=2.07kg」に換算

□環境経営計画の取組結果とその評価

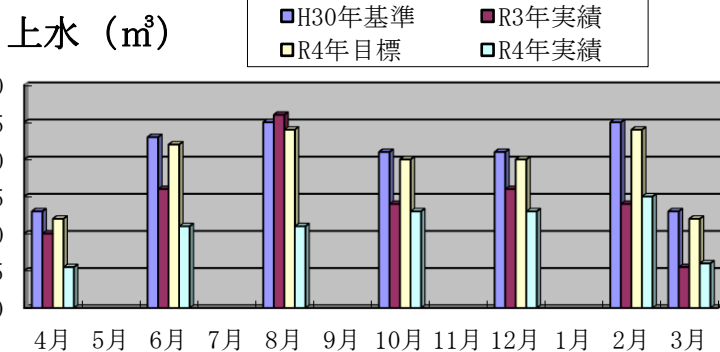
電力使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年度より減少できた月もありますが、全体的に消費電力が増加しています。以前よりも事務所が拡大したこと、社内に常駐している社員の増員なども増加の要因であると考えられます。一人一人がエコに対する意識をしながら進めていきたいと思ひます。
使用していないパソコンの電源を落とす。	○	
不必要な照明を落とす。	○	
冷暖房の設定温度を守る。暖房21度、冷房28度	△	
クールビズ、ウォームビズの実施	○	

表中の評価の記号（○十分実施できた、△一部実施できた、×実施できなかった）



購入電力kWh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	721	715	922	1104	902	683	751	815	930	954	836	873	10,206
令和3年実績	649	591	679	751	902	960	721	543	754	1122	1338	967	9,977
令和4年目標	684	678	874	1047	855	647	712	773	882	904	793	828	9,677
令和4年実績	817	662	699	882	1076	1076	753	766	937	1186	1377	923	11,154

水量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	節水の呼びかけの効果もあり、皆が不要な排水をしないよう洗車などの業務を行っていたり、気を付けながら取り組んでいました。今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。
生活排水、洗車時の節水	○	
節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	

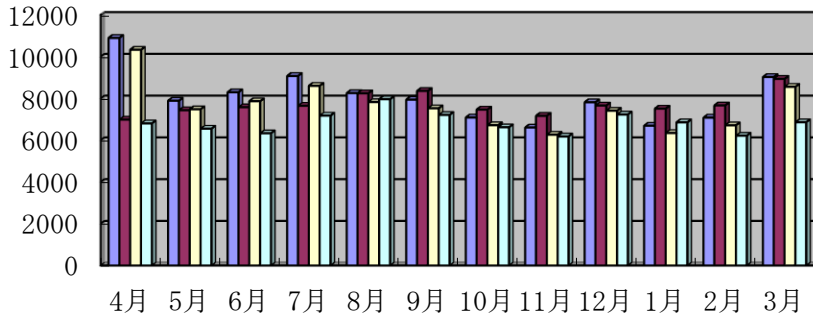


総排水量m³	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	13	23	25	21	21	25	13	141	13	14	16	14	102
令和3年実績	10	16	26	14	16	14	5.5	102	14	16	14	5.5	102
令和4年目標	12	22	24	20	20	24	12	134	20	20	24	12	134
令和4年実績	5.5	11	11	13	13	15	6	74.5	13	13	15	6	74.5

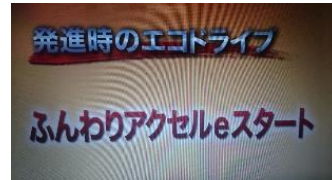
軽油・ガソリン・液化石油ガス使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	昨年度は数値目標に届かず評価が△でしたが、今年度は10%近くの減少が見られました。定期的な安全会議でエコドライブに対する呼びかけをドライバーに対し行い、一人一人の意識を高めることが出来たと思います。また車両の入れ替えも行い、今後も継続的に見直しを図っていきます。液化石油ガスの一年間の使用量が把握できたので来年度は目標を設定し、削減に向けて取り組んでいきます
効率的なルートで営業・収集運搬する。	○	
アイドリングストップに心がけECOドライブをする。	○	
液化石油ガスの使用量の把握	○	

軽油 (L)

■H30年基準 ■R3年実績
□R4年目標 □R4年実績



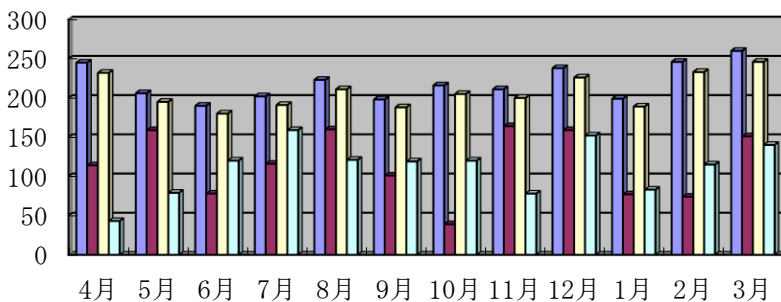
啓発シール、エコドライブ動画
老朽化の車両入れ替え



軽油L	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	10899	7892	8299	9077	8256	7943	7089	6609	7818	6694	7083	9028	96,687
令和3年実績	6988	7438	7580	7651	8248	8362	7466	7169	7662	7513	7667	8939	92,683
令和4年目標	10332	7482	7867	8605	7827	7530	6720	6265	7411	6346	6715	8559	91,659
令和4年実績	6806	6553	6332	7179	7964	7211	6620	6180	7232	6858	6216	6862	82,013

ガソリン (L)

■H30年基準 ■R3年実績
□R4年目標 □R4年実績



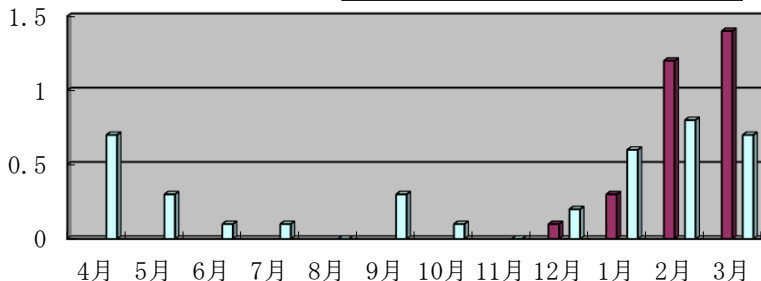
エコドライブ10のすすめ



ガソリンL	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	245	206	190	202	223	198	216	211	238	199	246	260	2,634
令和3年実績	114	159	78	116	160	101	39	164	159	77	74	151	1,392
令和4年目標	232	195	180	191	211	188	205	200	226	189	233	246	2,496
令和4年実績	43	79	120	159	121	119	120	78	152	83	115	140	1,329

液化石油ガス (m³)

■H30年基準 ■R3年実績
 □R4年目標 □R4年実績



液化石油ガスm ³ (LPG)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和3年実績	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.3	1.2	1.4	3.0
令和4年目標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
令和4年実績	0.7	0.3	0.1	0.1	0	0.3	0.1	0	0.2	0.6	0.8	0.7	3.9

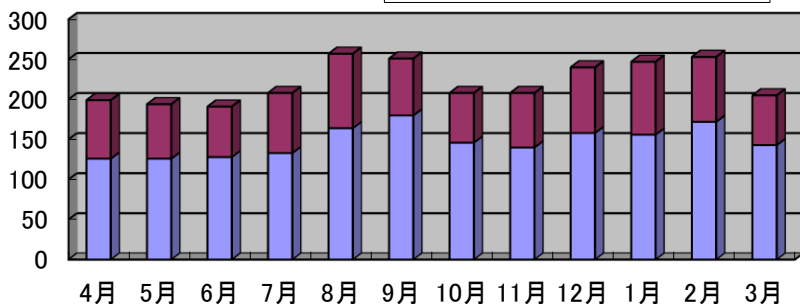
液化石油ガス (LPS) の使用量は気体 (m³) で把握し、「1m³=2.07kg」に換算

グリーン購入	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
エコマーク商品優先購入	○	昨年度に引き続き、今年度も車両の入れ替えを2台実施しました。リサイクル容器の推進やエコマーク商品の優先購入など、今後も引き続き取り組み、更に幅を増やしていきたいと思ひます。
事務用品	○	
リサイクル容器の推進	○	
車両の入替	○	

受託廃棄物における環境配慮及びサービスの改善	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	リサイクル率の高い処分場での処理を進めてきましたが、コロナ禍で処分場の受入れ制限等により他処分場での処理が余儀なくされ、リサイクル率が大幅に減少しました。今後もリサイクルに向けて処分場との対話を継続していきます。
受託廃棄物の再資源化の推進、営業	○	
新規処分場の開拓	○	

受託廃棄物 (t)

■リサイクル ■埋立

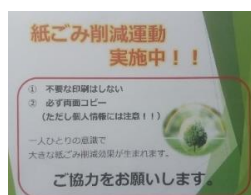
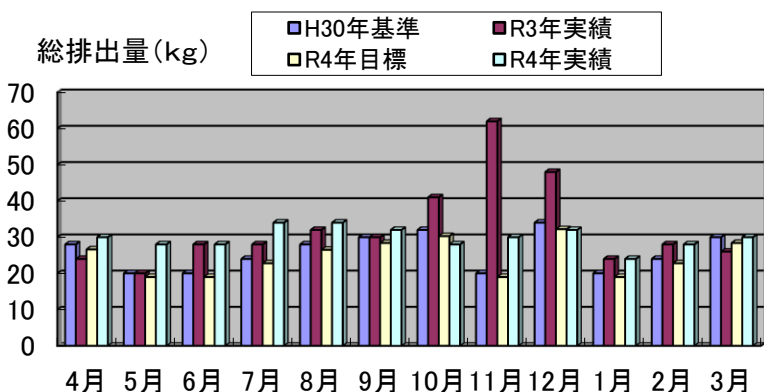


受託 t	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受託廃棄物	199	194	191	208	257	251	208	208	240	247	253	205	2,661
リサイクル	126	126	128	133	164	180	146	140	158	156	172	143	1,772
埋立	73	68	63	75	93	71	62	68	82	91	81	62	889
recycle率	63%	65%	67%	64%	64%	72%	70%	67%	66%	63%	68%	70%	67%

受託廃棄物のリサイクル率は収集運搬し中間処理後のリサイクルと埋立量 (最終処分) の割合

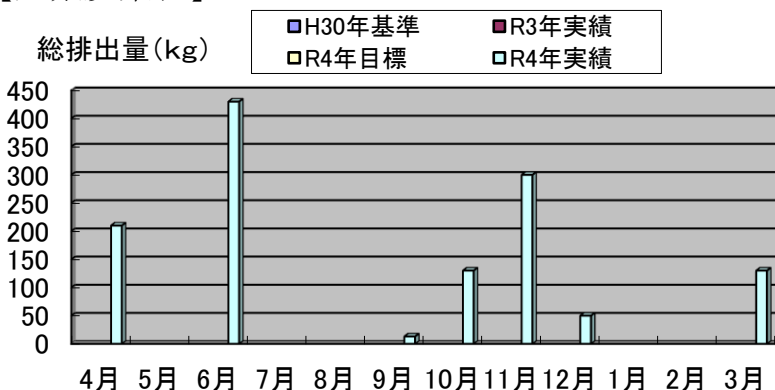
廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	昨年度同様、コロナ対策でペーパータオル紙、アルコール除菌シートを使用していました。人員の増加に伴い一般廃棄物の廃棄量も増加してしまったと考えます。分別や両面使用の徹底などは出来ていたと思います。産業廃棄物の把握は倉庫・事務所の片づけに伴い出た廃棄物や、パソコンの入れ替えによるものです。今後も継続して、取り組んでいきたいと思ます。
分別の徹底	○	
コピー用紙の失敗枚数削減	○	
両面使用の徹底	○	
FAXのプレビュー確認後印刷	△	
使用済み用紙をリサイクル施設へ搬入	○	
産業廃棄物の排出量の把握	○	

【一般廃棄物】



総排出量 k g	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	28	20	20	24	28	30	32	20	34	20	24	30	310
令和3年実績	24	20	28	28	32	30	41	62	48	24	28	26	391
令和4年目標	26.6	19	19	22.8	26.5	28.4	30.3	19	32.2	19	22.8	28.4	294
令和4年実績	30	25	28	34	34	32	35	33	32	24	28	30	365

【産業廃棄物】



総排出量 k g	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和3年実績	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和4年目標	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和4年実績	210		430			13	130	300	50			130	1,263

□内部コミュニケーション

□環境教育

情報交換会議		
実施日：令和 4年 11月 23日 (水)	実施場所：沼津営業所	参加者：全従業員
実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21概要、取組の意義、重要性について ・環境方針、環境目標、環境計画の内容、役割・責任の確認 ・エコアクション21途中経過の確認 		
		

□環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策




産業廃棄物収集運搬時の緊急事態対応計画書

- 1 本計画書は産業廃棄物収集運搬時の交通事故等により環境上の緊急事態の対応を定める。
- 2 未然防止対策及び緊急時への準備
 - ・安全運転ミーティングを行い、日頃から安全運転を心がける。
 - ・万が一のために備え、消火器等を車両に積んでおく。
 - ・事故後に「想定される事故」を日頃より検証。
 - ・「KYT」・事故報告書・安全会議・適正検査・運転簿の書類管理をし、記録、定期的を確認、評価している。
- 3 交通事故時の対応
 - ・速やかな応急対策
速やかに安全な場所に車両を止め、二次事故を起こさないようにする。
事故時に相手がいる場合は、速やかに相手に声をかけ、怪我等の把握をする。
 - ・関係機関へ通報する。
- 4 会社へ通報する。
 - ・速やかに会社へ通報し、運行管理者の指示を仰ぐ。
- 5 緊急事態の対応後の手順
 - ・運行管理者および管理責任者は、措置終了後、事故の概要を当事者に事故報告書を記入させ、保管する。

事故報告書の記載事項

 - ・発生日時、場所・事故の概要・その他考えられる事故・防止策
 - ・運行管理者及び管理責任者は、事故後安全運転ミーティングを開く。
 - ・安全運転ミーティングの内容を記録に取り、保管する。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：交通事故発生		
実施日：令和 4年 11月 26日 (金)	実施場所：沼津営業所	
参加者： 7名参加	実施内容：救護訓練（心肺蘇生AED）	
手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
評価：昨年同様に救護訓練を行った。今回はより細かく丁寧に、心肺蘇生のやり方やAEDの使い方を見直した。個人の認識を皆と確認し合い、正すことが出来た。		
		

□環境関連法規の取りまとめ及び遵守評価

環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無については下表の通りである。

評価日：令和 5年 3月 31日		評価者：環境管理責任者 佐藤 舞子		
法律	法的な要求事項	手続き	内容	評価・遵守
環境基本法	一般的な自主努力		3Rへの努力	○
フロン排出抑制法	フロン回収		許可業者へ廃棄	○
資源有効利用促進法	リサイクル等への協力		分別の徹底 グリーン購入	○
家電リサイクル法	再商品化の協力	リサイクル券購入	指定場所への廃棄	○
グリーン購入法	環境物品の購入		事業者は一般責務	○
浄化槽法	設置、法定検査	届出	保守点検、清掃	○
廃棄物の処理 及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬許可 特別管理産業廃棄物 収集運搬許可	処理基準遵守		○
		許可の更新	各県許可申請	○
		変更時の届出	各県変更許可申請	○
		契約書の締結/保管		○
		マニフェストの確認処理	B2票を10日以内に 事業者へ送付	○
		マニフェストの保管	B1票・C2票の 5年間保管/管理	○
		年間報告	毎年6月に報告	○
		県外搬入届出書	毎年3月に届出	○
		廃棄物の悪臭・飛散防止	保冷車使用	○
		投棄禁止	不法投棄禁止	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	産業廃棄物処理の委託先の 実地確認・記録・保管	委託契約締結前受託者の 現地確認	確認の結果を記録	○
		契約後、毎年1回以上の 処理状況の確認	確認の結果を記録	○
		処分場視察記録保管	5年間の保存	○
道路交通法	交通法規遵守		法定速度	○
道路運送車両法	法定点検		定期点検、車検	○
労働安全衛生法	特定自主検査		年次点検、月次点検、 始業前点検	○
条例など				○
三島市条例	一般廃棄物収集運搬許可	許可の更新	三島市許可申請	○
		変更時の届出	三島市許可申請	○

□違反、訴訟等の有無

過去3年間、関係当局からの環境関連法規等の違反の指摘、及び訴訟はありません。

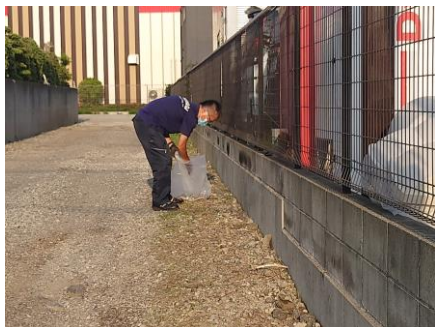
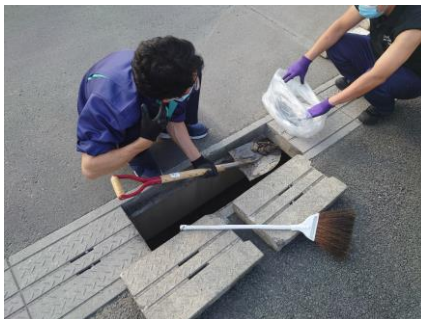
□外部コミュニケーション

「 環境レポートをホームページで公開 <https://www.tkyng.com> 」

「 地域（社会）貢献 」



事務所前の排水溝の清掃



事務所近隣のごみ拾い、草刈り清掃



外部からの苦情等の受付結果

令和4年度は、苦情等の受付はありませんでした。

以上

本年度も終息の目途の立たないコロナ禍の中、環境経営システムを有効に機能、継続しエコアクション21に取り組むことが出来ました。弊社を取り巻く環境も、働き方改革の推進や燃料や電力の異常なまでの高騰により会社経営は一段と厳しくなっていますが、従業員一同感染予防に努め売上を増加することができました。購入電力の未達成の内容では夏と冬が大幅に増加していますが、コロナ対策の一環で換気しながら冷暖房を使用していることや、常駐人数の増加が原因だと思われます。また受託廃棄物の目標未達成では処分場での受け入れ制限が大きく影響しています。未達成の項目もありますが、環境を意識し削減への取り組み努力が上昇率を抑えているように思います。その他は十分に達成できたと思います。今後も更なる意識を高めて取り組んでいき、持続可能な社会の構築に今後も貢献していきたいと思えます。

株式会社タカヤナギ
代表取締役 平田 豪

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有